

### 3 持続可能な大阪市を支える行財政基盤の構築

事項	23年度の実施内容
<b>事項3-① 「事務事業総点検」等に基づく点検・精査</b>	
<p>【趣旨・目的】 「中期的な収支均衡に向けた対策のフレーム」における「さらなる経費削減 約120億円」の実現をめざし、「事務事業総点検(中間取りまとめ)」に引き続き、総点検で問題提起を行った事業について点検・精査を行うとともに、日常の事務にかかる経費の徹底したムダの排除など、経費削減の徹底を進める。</p>	<p>ア 点検・精査 100事業のうち、平成23年度予算に向けて精査した16事業を除く84事業について、再構築部会でさらに整理・分類のうえ、引続き点検・精査し、再構築等を図っていくとともに、現行のPDCAサイクルや分権型予算編成システムのもとで、各局・区においても主体的に不断の見直しに取り組む。</p>
<p>【取組の考え方(戦略)】 ア 点検・精査 ・「中間とりまとめ」で問題提起を行った940事業について、国や他都市水準等との比較を実施し、他都市水準比較で「上回っている」「比較困難」と整理した事業の一般財源総額で9割以上を占める1億円を超える100事業を優先的に精査を行う。 ・施策効果検証のために「政策試行」として数年間の事業休止等の手法も検討  イ 経費削減の徹底 ・庁舎・事務所の光熱水費、広報印刷物の削減及び物品の集中購買の継続による経費削減を徹底するとともに、不用額の圧縮や事務事業総点検による削減などの収支改善の取組を進める。</p>	<p>イ 経費削減の徹底 「庁舎・事務所の光熱水費」「広報印刷物、物品の購入」等の取組を継続して実施することにより、引続き経費削減の徹底を図る。</p>
<p>【成果目標】 「中期的な収支均衡に向けた対策のフレーム」における「さらなる経費削減約120億円」を実現する。 (見直し可能となったものから速やかに、平成23年度以降の予算等へ反映)</p>	<p>【業績目標】 中期的な財政収支概算との関係等をふまえつつ、収支改善に向けて点検・精査の効果を平成24年度予算へ反映</p>
<b>事項3-② 市民利用施設等及び都市基盤施設等の管理のあり方検討</b>	
<p>【趣旨・目的】 市民利用施設をはじめとする都市基盤施設の管理のあり方について、必要性、有効性、管理のあり方等について方向性を明らかにする。</p>	<p>ア 市民利用施設等 全庁的な検討体制を立ち上げ、施設の廃止・転用や機能統合なども含めた活用方策の検討を行う。</p>
<p>【取組の考え方(戦略)】 ア 市民利用施設等 (ア)市民利用施設について、市民ニーズに応じた利用が可能となるよう、活用方策を精査する。 (イ)本市の施設全体について、効果的・効率的に施設の維持・運営を図る必要があり、配置のあり方、活用方策等も含め精査する。 (ウ)検討にあたっては、全庁的な検討体制を構築する。  イ 都市基盤施設等の管理 都市基盤施設等の維持管理については、予防保全の考え方に基づく戦略的維持管理(アセットマネジメント)を推進する。 維持管理水準等の最適化や限られた財源での維持管理の仕組みなど、財政状況を考慮した施設のマネジメントについて取り組む。</p>	<p>イ 都市基盤施設等の管理 予防保全の考え方に基づくアセットマネジメントに向けて、策定作業中の方針・計画について策定に向けた取組を進める。また、策定済の方針・計画については効果的、効率的な維持管理を推進する。</p>
<p>【成果目標】 ア 市民利用施設等 平成25年を目途に方針を策定する。その方針に沿って実施計画を取りまとめる。  イ 都市基盤施設等の管理 平成25年度までに方針を策定し推進していく。</p>	<p>【業績目標】 ア 市民利用施設等 市民利用施設ごとの課題の検討と重点的に取り組むべき事項の整理  イ 都市基盤施設等の管理 予防保全の考え方に基づくアセットマネジメントに向けて、策定作業中の方針・計画について策定に向けた取組を進める。また、策定済の方針・計画については効果的、効率的な維持管理を推進する。</p>

24年3月末までの主な取組	業績目標の達成状況	戦略の進捗状況の評価	次年度以降の課題	課題への対応に向けた次年度以降の取組の方向性と取組内容
<p>ア 点検・精査 84事業について、各局からのヒアリング結果などを踏まえ、事業の性質や事業を取り巻く状況などをもとに、「国やその他の検討等に併せて整理を行う事業」「既定の対応方針等に基づき見直しを進める事業」「国、府へ制度や財源措置の拡充を求めている事業」「それらのいずれにも該当しない事業」の4つに分類・整理を行った。1月以降、23年度予算で一般会計の一般財源ベース1億円以上の施策・事業を対象に、平成24年度の本格予算に向け点検・精査を行い、試案をとりまとめる。</p> <p>イ 経費節減の徹底 ・各取組を継続して実施。 ・庁舎・事務所の光熱水費については、既実施の取組の継続に加えて、照明の一部消灯や空調運転時間の短縮等の緊急節電対策を実施(7月1日～9月22日)し、本庁舎では夏期1日平均電気使用量を15%以上削減。冬季についても、引き続き、照明の一部消灯や空調温度の設定変更、エレベーターの運転停止などの様々な取組により10%以上を削減。</p>	<p>③</p>	<p>現在、「市政改革プランー新しい住民自治の実現に向けてー」基本方針編(案)の考え方に沿ってアクションプラン編を策定中。</p>	<p>アクションプラン編を踏まえて再構築を進める。</p>	<p>アクションプラン編を踏まえて再構築を進める。</p>
<p>ア 市民利用施設等 市民利用施設ごとの課題の検討整理を行い、市民ニーズに応じた施設利用のあり方(施設の廃止・転用や機能統合など)についての改革プロジェクトチームとしての案の取りまとめに向けて作業を進めた。</p> <p>イ 都市基盤施設等の管理【推進状況等】 ○策定した方針・計画に基づいて、効果的、効率的な維持管理を推進 ・舗装維持管理計画(道路)・橋梁維持管理計画・河川維持管理方針・浄水施設及び配水管整備事業など ○効果的、効率的な維持管理に向けて策定作業中 ・道路施設維持管理計画・河川水門長寿命化計画・下水処理区ごとの施設管理計画・港湾施設ごとの維持管理計画</p>	<p>①</p>	<p>ア 市民利用施設等 市民利用施設について、市民ニーズに応じた施設利用のあり方、効果的・効率的な維持・運営についての検討が進んでいる。</p> <p>イ 都市基盤施設等の管理 都市基盤施設等の戦略的維持管理の実現に向けて、目標年次を見据えた取り組みが着実に進行している。</p>	<p>ア 市民利用施設等 築年の新しい施設や合築施設なども多く、また、災害時の避難場所の確保など、方針の策定にあたって考慮すべき事項が多い。</p> <p>イ 都市基盤施設等の管理 施設の維持管理にあたって、維持管理システムなどの精度向上を図る必要がある。また、維持管理計画の策定において、現況調査に多大な時間を要するものがある。</p>	<p>ア 市民利用施設等 市民ニーズに応じた施設利用、施設の廃止・転用や機能統合などの方向性を盛り込んだ「市民利用施設の管理のあり方」の改革プロジェクトチーム案を提示し、各局等との議論を経て方針を策定する。策定後は、その方針に沿って実施計画を取りまとめるよう各局等に指導・調整する。</p> <p>イ 都市基盤施設等の管理 方針等を策定済の都市基盤施設については、その方針等に基づいて効果的、効率的な維持管理を進め、策定作業中のものについては、引き続き策定に向けた取り組みを進める。</p>